

青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨
青空作業所・高山市山口町 1297-1 0577-35-1559
<http://welcomhida.web.fc2.com/>
平成 23 年 1 月 31 日発行 第 12 号

年頭のご挨拶

理事長 柏木 真司

新年、おめでとうございます。ウェルコミュニティ飛騨は本年、設立5年目を迎えることができました。これも偏に皆様方のご支援の賜であると深く感謝申し上げます。

振り返りますと法人設立の目的は、飛騨の地域で障がい者の雇用を促進すること、福祉サービスを拡充することでした。ここ飛騨ではさまざまな就労支援機関がネットワークを構築し、それぞれの専門性を活かしながら障がい者の就職支援に取り組んでいます。また、新たな福祉サービス事業所も立ちあがってきています。これらの取り組みに法人として微力ながら関わらせていただいていることは、設立目的に沿った活動ができていると考えています。

5年という節目を迎えた本年は、これから先10年後の法人のあるべき姿、役割を考えていかななくてはなりません。今後の障がい者福祉は、不安定な政治や経済状況のなかでどのように展開されていくのか、先が見通せない状況にあります。その中でウェルコミュニティ飛騨は、障がい者とその家族、関係者に信頼され、必要とされる法人を目指していかななくてはなりません。その為には何が必要なのか、何を行うべきかを役員ならびに職員で考えていきたいと思ひます。皆様方からも是非、率直なご意見やご要望をお聞かせ願ひたいと思ひます。

うさぎ年の本年は、飛躍の年にしようと決意しています。これまで以上に皆様方のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



お知らせ

施設見学者、作業体験者大募集!!

日中することがない 家にいても不規則な生活になってしまう 働きたいけどまだ自信がない
少しでも稼ぎたい 支援を受けながら無理なく働きたい 作業所ってどんなところ?

みなさん、青空作業所に見学に来ませんか?

団体での見学も個人での見学も受け付けております。事前にご連絡いただき、日程を調整してから来所してください。青空作業所は皆様のご連絡をお待ちいたしております。

お問い合わせ先

NPO法人ウェルコミュニティ飛騨 「青空作業所」

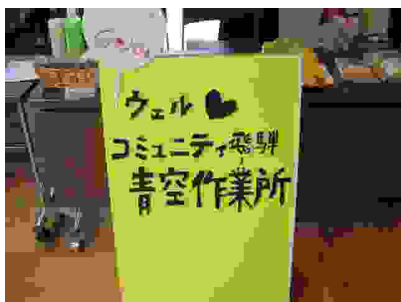
TEL: 0577-35-1559

まずはご連絡ください。



最近の活動報告①

H22年11月21日
物を生かす交換会参加



11/21(日)高山市市民文化会館にて「若いミセス生活学校」主催の「物を生かす交換会」に参加販売してきました。ポカシや石鹸、リサイクル製品などが大人気でした。



H22年11月22日
施設・企業見学ツアー

授産施設「吉城山ゆり園」、就労継続支援A型事業所「ひだっこの里」、株式会社「大洋薬品」の3カ所を見学させていただきました。仕事内容や給料（又は工賃）、仕事時間など色々な質問が出ていました。地域の中の、働くことに関する社会資源を知る良いきっかけになったのではないのでしょうか！？



授産施設「吉城山ゆり園」

知的障がい者を中心とした施設で、入所と通所がある。作業内容は花苗の栽培や下請け業務など様々。工賃は平均すると月8000円程度。一般就労を目指す方は別の企業内の作業場所で訓練を行っている。

就労継続支援A型事業所「ひだっこの里」

雇用契約に基づいた「働く場」を提供している事業所で、基本的に最低賃金（時給 706 円）は保障される（ただし例外あり）。仕事内容は農業（シイタケ栽培、トマト栽培など）



昼食はみんなで「アリス亭」に行きました!!



株式会社「大洋薬品高山工場」

従業員約900人の製薬会社。ジェネリック医薬品を製造している。給与は勤務形態により様々。障がい者雇用にも積極的に取り組まれおり、勤務時間も短時間から慣らしていくなど、柔軟に対応している。

最近の活動報告②

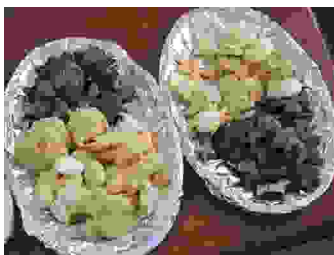


**H22年12月25日
クリスマス会&仕事納め**



青空作業所でクリスマス会を行いました。ケーキを手作りして、みんなで美味しく頂きました。またカラオケ大会や職員のマジック披露、ビンゴ大会など楽しい1日を過ごすことができました。

今年1年の振り返りを1人ずつ発表して、仕事納めとなりました。



**H23年1月4日
新年会&仕事始め**



明けましておめでとうございます。
年が明けて1月4日に新年会を行いました。
みんなで「ぜんざい」を作り、美味しくいただきました。
また、一人ずつ新年の抱負や今年の目標を話し、「青空作業所」の2011年がスタートしました。

スタッフの新年のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

今までは利用者との会話もあまり意識せず、自然体で話していましたが、今年は時々振り返りながら、自分に問いかけ、心豊かに前進できたらと思います。

BY光賀浩子

新年おめでとうございます。

一日一日一生懸命、生きる喜び、働く喜び、それを共に感じとれる作業所として、今年も頑張りたいと思います。今年一年宜しくお願い致します。

BY遠藤裕美

新年あけましておめでとうございます。

昨年は施設の移転を行い、初めての事だらけで、あっという間に一年が過ぎて行きましたが、無事に新しい年を迎える事ができました。今年は、昨年の経験を活かし成長していけるよう頑張りたいと思います。

BY井端隆博

新年明けましておめでとうございます。

去年は施設の移転、スタッフミーティングの定例化、利用者のニーズ別記録管理、個別支援計画と工賃評価・面接の導入、新規利用者獲得に向けた取組み、タイムカード導入、IT化による事務効率化など、積極的に組織内部の改革に取り組んで参りました。平成21年の新規利用者11名、就職卒業者9名と「囲い込まない、地域への架け橋となる中間施設」として普しることなく取組んでいくことができたと思います。

また施設外の活動としてローカルネット全国大会の開催、他機関協働のケア会議の普及など地域全体のサポート力の向上に取り組んで参りました。

これも多くの方々にご協力いただき、お力をお借りすることで達成できたと深く感謝しております。振り返ると地域の皆様に支えられた1年でした。また今年もみなさまに感謝の気持ちを忘れずに、お力を借りながら日々精進していきたいです。どうぞ宜しくお願い致します。

BY須田竜太

新年おめでとうございます。

今年で5年目になりますが、日々たくさんのことを学んでいきたいと思っています。今年も毎日笑顔で元気いっぱい頑張ります。よろしくお願い致します。

BY宇野まい

新年おめでとうございます。

昨年は社会人一年目ということもあり、日々勉強の毎日で、慌ただしく一年が過ぎていきました。今年では二年目となりますので、もう少し自分の心に余裕を持たせながら、スキルアップを目指し、メンバーのみなさんと笑顔溢れる毎日を送りたいと思っています。本年もよろしくお願い致します。

BY水口朋美

卒業生レポート

卒業生レポート第3弾は、平成23年1月19日（水）に開催した「就職した卒業者との交流会」をレポートしたいと思います。昨年、就職した施設卒業者の小泉紀子さんと竹下英美さんのお話です。

竹下英美さん

竹下さんは、高山市の障害者雇用創出事業を活用し、有限会社トータルプランニングオフィス飛騨に採用され、高山では有名な観光施設である、「飛騨の里」

で働いています。主な仕事の内容は清掃作業です。冬場は雪かきが多くなり、重労働となっています。雪でお客様が転んでけがをしないよう、一生懸命雪をかいているとのこと。

働きはじめてこれまで無遅刻無欠勤です。週二日のお休みがありますが、一日は外出して好きなことを行い、気持ちをリフレッシュさせ、残りの一日は家で過ごし、体を休めるとのことです。このように心身の健康管理に十分配慮していることが、無遅刻無欠勤につながっていると思います。

働いていてうれしかったことは、観光でみえたお客様から「ありがとう」「ご苦労様」「頑張ってるね」などと声を掛けられることだそうです。働くことはお金を稼ぐという大きな目的がありますが、それだけではなく人から感謝されることがやりがいに繋がります。このことがつらい仕事を続けられる要因だと思います。

今は、お給料をお父さんに管理してもらっているとのことですが、これからは自分で管理できるようになりたいと話してくれました。仕事を行うだけでなく、お金や生活の管理が自分でできるようになることが、本当の自立だと思います。

小泉紀子さん

小泉さんは、国府町にあるアピタ飛騨高山店で働いています。カートの整理や清掃、牛乳パックなどの回収を行っています。小泉さんは体の負担を考えて、短時間の就労から始めました。そしてジョブコーチに働く現場で支援をお願いしました。

働き始めた当初は、体も精神的にもつらく、何度も仕事を辞めたいと考えたようです。しかし、家族やジョブコーチに相談し、支えてもらいながら頑張り続けた結果、今は随分、体も心も楽になってきたとのこと。仕事を辞めたいという最初の壁にぶちあたった時、簡単に諦めるのではなく、いろいろな人に相談しながらその壁を乗り越えることが、とても大切だと話してくれました。

また、短時間から働きはじめたことも良かったと思います。小泉さんはこれから少しずつ働く時間を延ばしていきたいと考えています。いきなり大きな目標に挑戦するのではなく、小さな目標を一つひとつ確実に達成していくことが長く働き続ける秘訣だと思います。

参加したメンバーからこのような質問がありました。「働きはじめて、服薬と通院はどのようにしていますか？」小泉さんは、しっかりと薬を飲み、通院も続けています。病気とうまく付き合いながら働くには、服薬と通院は欠かせません。誰でも一つや二つの病気はあるものです。職場や同僚に遠慮せずに服薬と通院は継続しましょう。

参加したメンバーの感想

今回、今まで一緒に訓練をしていた仲間が就職し、頑張っている様子を直接聞くことができ、参加したメンバーも希望を満ち、勇気づけられました。「お二人が頑張っているので、自分もこれから就職を目指してがんばりたい。」「自分が就職する際は、是非ジョブコーチに支援してもらいたい。」などの声が聞かれました。

一般の会社で働くことが私たちのゴールではありません。人それぞれ働き方は多様であり、ゴールも様々です。大切なのは自分にあった働き方を見つけることだと思います。青空作業所を利用されているメンバー一人ひとりが、幸せな人生が送れる働き方を見つけるお手伝いをスタッフで行っていききたいと思います。

(文責 柏木)